



会津若松市オーガニックビレッジ宣言



会津若松市は、福島県の西部、四方を山々に囲まれた会津盆地の東南に位置し、四季折々の美しい風景が広がる豊かな自然と豊富な水源に恵まれた、歴史と伝統、文化が息づくまちです。

基幹産業である農業は、水稻を中心として、アスパラガスやトマトなどの高品質で良食味な園芸作物の生産が盛んに行われており、また、有機農業についても、40年以上前から取り組んでいる熟練農業者を中心に組織された団体等により、多種多様な作物が生産されています。

環境負荷の低減や生物多様性の保全が課題となっている現代において、環境にやさしい農業の普及と環境を考えた食生活を推進していくことは、私たちの使命であり、地域全体で持続可能な農業と食のあり方の再構築に取り組むことが求められています。

これまで先人が守り育ててきた自然環境と笑顔あふれるこのふるさとを、未来を担う子どもたちに引き継ぐため、本市は、生産者・事業者・消費者が一体となった有機農業の推進による持続可能な食料システムの構築を目指し、ここに『オーガニックビレッジ』を宣言いたします。

令和8年6月29日

会津若松市長

室井照平